



江守正多さん 講演会

気候危機、私たちにできること

今なら間に合う！10年後のために私たちは今、何をすべきか？地球温暖化（気候危機）は長年にわたる人間活動が原因であり、疑う余地がないことがはっきりとわかってきました。そして気候危機は、社会的に強い立場の人が原因を作り、弱い立場の人が最初に被害を受けていくという理不尽な性質を持っています。では私たちはどうすればよいのか？一人ひとりの意識が変わることで社会の常識が変わることに希望があります・・・さあ具体的には？

参加無料

【オンライン開催】

2022年

11月20日（日）

10:00～12:00 ※休憩有



質疑応答の時間も設けています



江守正多（えもりせいた）

1970年神奈川県生まれ。東京大学未来ビジョン研究センター教授。1997年より国立環境研究所に勤務。地球システム領域上級主席研究員。専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。気候変動に関する政府間パネル第5次、第6次評価報告書主執筆者。

お申込みはコチラ

QRコードよりお申し込みいただくと、自動返信メールで参加URLが届きます。

QRコードが読み込めない場合はコチラまでご連絡下さい。

y-sanada@club.s-coop.or.jp

【注意事項】

- ・スマホから参加される場合は事前に ZOOM アプリのインストールが必要です。
- ・ZOOM の使用方法や設定方法に関してはご案内できませんので、不安のある方は事前に確認をお願いします。



主催：生活クラブ生協 〒063-0829 札幌市西区発寒9条13丁目1-10 TEL：011-665-1717

（10月31日よりコチラ）〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1丁目4番15号 TEL：011-887-8891

～ 生活クラブ北海道創立 40 周年記念連続講演会(全4回) ～

第一回 7月23日(土) 10:00～11:45

終了しました



「協同組合が未来に果たす役割」

豊かな未来への鍵を握るのは協同組合や市民が参画する地方自治。
協同組合が未来に果たす役割について。

斎藤幸平 (さいとうこうへい)

1987 年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科准教授。45 万部を超えるベストセラー『人新世の「資本論」』(集英社新書)で「新書大賞 2021」を受賞。

第二回 9月17日(土) 10:00～12:30

終了しました



「すべての土台、憲法を『檻』と『ライオン』でわかりやすく！」

憲法の基本的な理解を「ライオン＝国家権力」「檻＝憲法」に例えて全国行脚。楽しくてためになり、理解が進むこと請け合いです！

椋大樹 (はんどうたいき)

ひろしま市民法律事務所所長・弁護士。檻の中のライオン講演は全国 46 都道府県で 500 回以上開催され大人気。

第四回 2023年 2月4日(土)

会場実参加 or オンライン参加

13:30～15:30 (予定)【会場】かでの 2・7 大ホール

参加無料



「共に生きるとは何か

－難民の声、家族の歴史から考えた多様性－

違いを認め合うことは多様性の基本。それぞれの人が持つ価値観や個性を受け入れ尊重できたら、多様な人々からなる社会はもっと優しく豊かになるはずです。分断ではなく「共に生きる社会」にするために大切なことはなんでしょうか。

安田菜津紀 (やすだなつき)

認定 NPO 法人 Dialogue for People フォトジャーナリスト。同団体の副代表。東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。